



ウィルグループ

# JANAシンポジウム 地域・在宅における対応の実情と課題



ウィル訪問看護ステーション江戸川  
岩本大希

2020.6.7

Ver : 1.0



## 自己紹介と前提

- ・自己紹介

岩本大希 (Taiki Iwamoto)

在宅看護専門看護師、ウィル訪問看護ステーション江戸川所長

在宅での看護実践を中心に、東京都、沖縄県、福岡県、岩手県、埼玉県で訪問看護事業所を営んでいます。

- ・本発表は訪問看護(在宅看護・地域看護)の視点に基づきます。
- ・主に情報のことについて述べます。物資については割愛します。
- ・COIはありません。

## 3月

- ・COVID-19についての報道や他国の情報で賑わう。国内では一部で対応している感染症であった。
- ・そのうち感染拡大、蔓延期になることが見込まれた。
- ・いくつかの業界団体や学会では感染症に関する考え方や準備についての情報がアップされていた。(訪問看護においても)
- ・都内や大阪府など蔓延期を迎え始めたころから、学会や業界団体から「訪問看護現場」実務的なバックアップの情報発信・アップデートが見当たらなかった。待っている時間はないことに気づいた。
- ・仕方なくそれらを待つまでの間に、自分たちのガイド(案)を作成し始めた
- ・現場の実情に身を置き責任も持つ人物の有志でグループを作成
- ・多くの現場で同じ困難があることを確認、実務フローを踏まえ手探りで信頼のある一次情報を中心に情報収集を行ない、書面に起こして行った。また対処不明なことも明らかになっていった



<https://covid19hc.info/hvnguide/>

## 4月

- ・WEBで公開できるツールを使っており、作成過程から公開し続け、SNSを中心に拡散した。局面と役割からDirty but Speedyを重視した。多くの地方の現場の人々から連絡が増えリーチされた
- ・情報感度が高い管理者たちは危機感はあるも打破できない(わからない)閉塞感や不安・恐怖が共通していた。
- ・一方で情報感度の高い管理者以外は楽観的であり落差が大きかったが、ガイド(案)に触れて地域ごとの連絡会を通して各自対策が行われるようになった
- ・その後、公益団体(日本看護協会)にも被リンクしてもらうこととなった。現在も随時改定している

## アクティビティ ダッシュボード



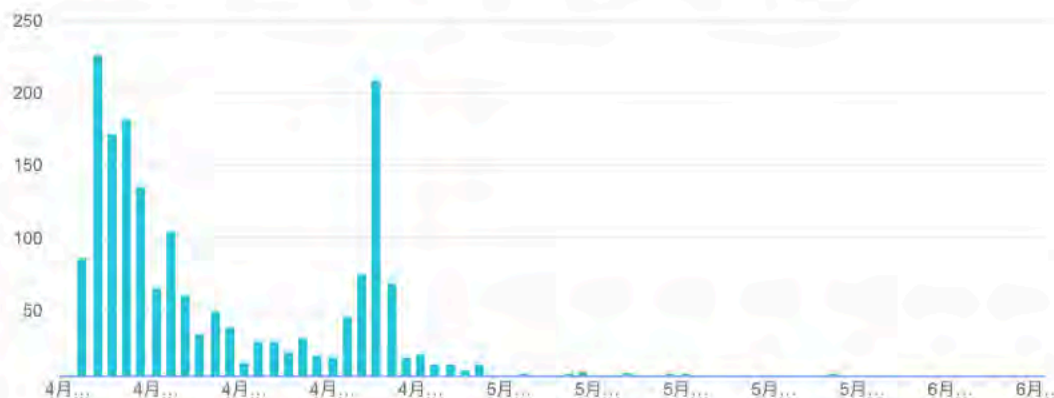
- 閲覧者
- 閲覧者のトレンド
- コメントのトレンド
- 共有履歴
- プライバシー設定

2020年4月2日以降の閲覧者の実質総数: 1283 人 ⓘ

全期間



1週間あたりのユニーク閲覧者数 (2020年4月2日~2020年6月7日)



— 5人以上のユーザーに表示されているアクティビティ ⓘ

よく使用されるドキュメントの場合、すべてのユーザーがカウントされますが特定はされません。 [詳細](#)



## 現在の課題に思うこと

- ・色々なところからガイドや指針などが出てきて安心している。しかし、もはや乱立している状況で、逆に現場は情報の取捨選択に困っている。例) 看護協会、財団、事業協会、厚労省、自治体、有志、医学系学会、看護系学会、etc 何みたらいいの？
- ・現場に最も必要なのは、看護系について「ここを見れば迷ったときの情報が集約されている」と言う状況が1点にまとまっていること。「正しい」可能性の高い「まとまった情報」を、「集約する」こと。  
そしてそれはきちんとアップデートがかかること。

# 現在の課題に思うこと

・特に、訪問看護や施設看護に従事する看護職へのサポートが重要に思う。なぜなら  
小さい規模が多く

コメディカルのみ従事し

大きな後ろ盾がなく

従事者割合が少ない



病院や医療法人全体で  
情報把握・対策共有



医療法人グループ  
もしくはソロプラクティスなら医師  
会が情報把握・対策共有



法人やグループ全体で  
情報把握・対策共有

・連絡会など横のつながりは  
機能しなかった

(正しい情報がないと噂レベ  
ルしか回らない)

・自治体行政もリソースと情  
報を持っていない



各事業所や法人で  
情報収集・対策を考慮



各事業所や法人で  
情報収集・対策を考慮

ここに  
サポートが  
必要だった  
のでは

## 期待

- ・学会などアカデミアに最も期待したいのは「編集能力」と「情報の正しさ評価や裏付け作業」。
- ・各団体がそれぞれ指針を出してアピールを競う場面ではない。例えば学会員にしか届かない発信などは問題解決にならないので、できる限り届かない情報発信などの無駄なリソースは割いて欲しくない。
- ・今からさらに個別に指針やガイドなど分散化すればするほど現場は困るし情報は届かなくなるため、可能なら現場で最も利用されているツールに乗っかり、その情報のアップデートと裏付けの確認などを手伝ってもらう方が効率的。





岩本 大希 (Taiki Iwamoto) RN,PHN,CNS  
E-Mail : t.iwamoto@wyl.co.jp  
FB : <https://www.facebook.com/taiki.iwamoto.1>  
Twitter: @taikitenpa  
ウィル訪問看護ステーション [www.wyl.co.jp](http://www.wyl.co.jp)